

学校ボランティアの御礼

本年度も学校ボランティアに多くの方が応募していただき、「家庭科指導の補助」「書写指導の補助」「登下校指導」「児童引率補助」など、大変お世話になっております。7月8日（金）には、1年生が明神公園での生活科学習のための引率で保護者の方にお世話になりました。御自身の子供さんがいても、他の子供の安全に気を付け、道中の交通事故に気をつけながら、引率の補助をしていただきました。小学校からは、私も含め、3名で引率しておりますが、長い隊列になりますので、保護者が途中に入っていたいただいたおかげで、安心して引率できました。暑い中でしたが、本当にありがとうございました。

このように、各学年では、社会科見学や生活科などで、校外への活動があります。今後も、授業の補助や活動の引率などでお声かけをさせていただく機会もあると思います。いざという時のために、保険をかけますので、実際には、参加できなくても構いませんので、ぜひ、学校ボランティアに御登録をお願いいたします。登録していただいた方の中から、御連絡をさせていただくようにいたしますので、よろしくをお願いいたします。

夏休みを向かえるにあたって！

子供たちが大変楽しみにしている（保護者は、大変な）夏休みが、あとわずかとなってまいりました。長い夏休みですので、それぞれの学年の実態に合った過ごし方をしてほしいものです。各学級で、担任の先生から、夏休みの過ごし方のお話があると思いますが、私の方からは、全般的な保護者の皆さんへのお願いをお伝えします。

【個人懇談でお話したいこと】

個人懇談は、学校での様子をお知らせする時間です。担任が子どもさんの学校での「学習面」「生活面」について、頑張ったところ、もう少し頑張してほしいところについて、お伝えします。短時間（児童数によって7～10分程度）ですので、お聞きになりたいことなどがありましたら、あらかじめまとめておいていただくと助かります。担任もなるべく時間通りに進めるようにしますので、保護者の方の御協力もよろしくお願いいたします。

【夏休みの過ごし方について】

私の教員時代に、保護者とお話して、上手に夏休みを過ごされているな、と感じた家庭の取組を参考にして、お伝えしますので、まずは、それぞれの御家庭で子供さんと一緒に話してみてください！

① 学校に登校するときと同じ時間に起き、就寝させること

学校がお休みである土日などは、いかがお過ごしでしょうか？親もゆっくりしたいために、子供もゆっくり起きていませんか（正直、我が家も大変ゆっくりになっています）？しかし、夏休みの通常日は、保護者の皆さんもお仕事などがあると思います。小学生も、普段と同じ生活リズムを崩さないことが大切です。生活リズムを崩さないことは、夏休みの過ごし方で一番大切なことだと思います！

② 毎日、少しでも学習をする習慣を崩さないこと

保護者の皆さんは、ご自身の夏休みは、宿題を先にすませるタイプか、あとに残すタイプのどちらでしたか？夏休みの宿題をすませる計画を立て、1日〇時間（学年によって違います）の学習時間を確保しましょう。たとえ、計画通りいかなかったも、「まったく勉強をしなかった」日を作らないように、もし、まったくしていなかったら、保護者の方が帰宅してからでも、その日の勉強は、少しでもすませることが大切です。1日やらない日があると、何日もため込むことがよくあります。やったかどうか口で聞くだけでなく、やったところを確認すると良いと思います。

③ 家族の一員として、何かお手伝い（仕事）をさせること

普段から、お手伝いをさせている御家庭は、すばらしいと思います。夏休みは、子供が家に居る時間が増えますので、そういった方も何か1つでも増やして、家族の一員としての自覚を育てるのに、夏休みは大変いい機会です。それぞれの児童が、1人でもできる内容で良いと思いますので、ぜひ、子供さんと話し合っ、決めてみてください。

校長の真面目な子育て日記⑱

何人もの子供たちが心配をしてくれた、弱り切った「子猫」が、無事、保護されました。

7月6日（木）の放課後、何人かの子供たちが、学校のピオトープ（裏門を入れて右側）の辺りで、子猫が瀕死の状態で倒れていたことを教えてくれました。子供たちが何とか元気になるようにかまってくれていましたが、暑さと栄養不足でガリガリに痩せこけて、全く立つこともできませんでした。とりあえず、そのままにしておくことにして、夕方子供たちは帰って行きました。しかし、みんなが心配している中で、そのままにしておく、きっと翌日には亡くなってしまふ恐れがありました。広島県動物愛護センターに連絡したところ、「翌日まで生きていたら、引き取ります」「元気なら、逃がします」とのことで、何とかできればと思い、我が家に連れて帰って、体を拭いたり、液体のエサを与えたりしました。我が家は、アパートなので本当は良くないのですが、一晩だけ泊めさせてもらいました。我が家のツンデレ娘は、アパートでペットを飼えないので、6年生にも関わらず、ぬいぐるみをペット代わりに生き物以上にかわいがっています。そのため、子猫を連れて帰ってびっくりし、エサをやったりかまったりしてくれました。何とか、翌日、少し元気になり、愛護センターの方が迎えに来るまで、校長室の涼しいところで保護していました。

今回、多くの子供たちや保護者の皆さまが、この「子猫」を心配し、翌日に何人も「あの子猫は大丈夫？」と聞かれました。結局、愛護センターの方に「弱っている」と判断していただき、連れて帰ってもらうことができました。私が、「殺処分するようなことはないですね」と、すでに自分のペットのように心配をして聞くと、「現在は、広島県では殺処分をしていません。譲渡会か、NPOを通じて、飼い主を見つけます。」とのことで、安心しました。心配して下さった子供たち、保護者の皆さま、ありがとうございました。子猫は、きっと優しい飼い主のもとに行ってくれることでしょう。

我が家のワガママ娘は、「何で、私家ではペットを飼ってはいけないのか」と何度も聞いてきて、困りました。動物を育てることは、命を預かることです。最期まで責任をもって育てないといけません。小学生時代にそういった経験をさせてあげたいところですが、各家庭で事情がありますね。今回の件で、あらためて「命」の大切さと、「命」に係わる人のかかわり方の必要性を考えさせられました。元気で、健康で毎日を過ごせることの幸せを感じていきたいものですね！